

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 35 号	氏名	和泉 泰衛
学位審査委員	主 査 副 査 副 査	小路 武彦 河野 茂 佐藤 伸一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>学位論文題名 「原発性シェーグレン症候群における末梢 NK 細胞の特徴 :NK 活性低下と NK 細胞数減少」</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、原発性シェーグレン症候群において、リンパ増殖性疾患の頻度増加と関係していると思われる NK 活性低下の機序を解明することを目的としたもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では、インフォームド・コンセントを得た原発性シェーグレン症候群患者と健常者から得られた末梢血を用い、NK 活性は ^{51}Cr release assay によりまた NK 細胞数の変化は細胞表面マーカー染色後フローサイトメーターにより解析している。また血清サイトカインは ELISA で定量され、アポトーシスの関与は Annexin V 染色により検討されており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 以上の結果、原発性シェーグレン症候群患者では、末梢 NK 細胞のアポトーシスが有意に増大しており、その誘導因子として IL-18 や $\text{TNF } \alpha$ の関与が示唆された点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は原発性シェーグレン症候群患者での NK 活性並びに NK 細胞減少のメカニズムを明らかにした点、本症候群の病態解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			